

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 小児における2Dスペックルトラッキング心エコー法を用いた左房機能評価に関する後方視的研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 小児科 (研究責任者) 神保 詩乃
<研究期間> 承認日 ~ 西暦 2020年 03月 31日
<研究の目的と意義> 心不全(心臓の機能不全)の評価は、成人では高血圧や心筋梗塞、不整脈、脳卒中などの予後予測と関連して大変重要です。同様に小児では、先天的あるいは後天的に発生した心臓病の生命予後を少しでも改善するため、心不全の状態を鋭敏に評価する指標が求められます。今回研究対象とするのは、左心房といって、最終的に血液を全身に送り出す左心室と連携した機能を司る心臓部位の解析です。左心室の機能不全をより早い段階で察知できるかどうか、成人ではすでに応用されている左心房の機能解析を小児でも検討したいと思います。
<利用する試料・情報の項目> 3階の小児超音波室にある心エコーの機器に保存された心エコーの画像をもとに、左心房の容積および機能解析をオフライン作業(患者様の検査との同時進行ではなく、後日すでに保存されている画像を解析する)で行います。
<対象となる患者さん> 年齢0歳以上20歳以下の方で、2016年5月1日から2020年3月31日までに、小児科外来または小児科入院中に何らかの理由で心エコー検査が必要と判断され、その結果正常であった方。
<研究の方法> 2Dスペックルトラッキング法を用いて解析します。この解析が可能な機械の置いてある、3階の小児超音波室において心エコー検査を行った方のみが対象となります。この機械は、患者様の検査が終了した後で解析が可能なように一時的に画像を保存する機能が搭載されており、まず保存された画像を拝見して、左心房の解析可能な画像が得られている方に対してのみ、解析させていただきます。オフライン作業で左心房の内壁をトレース後、解析ボタンを押すと約1分以内に自動で左心房の容量および機能解析結果が数値およびグラフで示されます。また、通常的心エコー検査項目として他の心臓機能の指標となる計測を行っておりますので、それらとの比較検討も加えたいと思います。
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 小児科 氏名:神保 詩乃 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2442 (PHS)8003